

『補助循環用ポンプカテーテルに関するレジストリ事業 J-PVAD : Japanese registry for Percutaneous Ventricular Assist Device』 に対するご協力をお願い

研究の目的と意義	この研究は、補助循環用ポンプカテーテルの使用状況や性能に関する情報等を把握し、得られた情報を解析することにより、生存率や予後の改善等に影響を与える因子の探索（解析）を行い、今後の心原性ショック等の急性心不全の病態にある患者の救命治療についての臨床評価や臨床管理などに役立てます。また、補助循環用ポンプカテーテルの臨床上の有効性と安全性を明らかにし、適切な安全対策を推進し、適正な使用の普及に役立てることを考えています。
研究の方法	補助循環用ポンプカテーテルを使用したすべての患者さんのデータを診療録から収集させていただきます。
対象者	2025年12月31日までに補助循環用ポンプカテーテル（PVAD/IMPELLA）を使用した患者さん。
利用する試料/情報	<p>患者のイニシャル(非開示入力可)、IMPELLA留置時年齢、性別、IMPELLA留置日</p> <p>カテーテルVAD留置前 患者背景、入院情報、既往歴、現病歴、リスクファクター、心疾患の治療歴、IMPELLA留置前の状態、Japan Coma Scale (JCS)、IMPELLA使用理由、心不全の原因、追加の補助、血行動態パラメータ、IMPELLA使用前の機械的補助循環装置、左室駆出率、臨床検査、併用薬剤（強心剤/昇圧剤、心臓関連薬）、製品不具合</p> <p>カテーテルVAD補助中 IMPELLAパラメータ、血行動態パラメータ、IMPELLAが使用された手技の詳細、追加の補助、左室駆出率、臨床検査、併用薬剤（強心剤/昇圧剤、心臓関連薬）、有害事象、製品不具合</p> <p>カテーテルVAD抜去後 IMPELLA抜去時状態、血行動態パラメータ、追加の補助、左室駆出率、臨床検査、併用薬剤（強心剤/昇圧剤、心臓関連薬）、有害事象、製品不具合</p> <p>退院時 患者状態、血行動態パラメータ、左室駆出率、臨床検査、併用薬剤（強心剤/昇圧剤、心臓関連薬）、有害事象、製品不具合</p>
利用する試料/情報の取得方法	診療で得られた診療録等
利用する試料/情報の管理責任者・住所	<p>済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1</p>
研究組織	<p>【研究代表機関】 補助人工心臓治療関連学会協議会 インペラ部会 澤 芳樹（研究代表者）</p> <p>【研究分担機関】 済生会横浜市東部病院 伊藤 良明(研究責任者) ※この研究は「補助人工心臓治療関連学会協議会 インペラ部会参加の245施設が参加しています。詳しくは「実施設一覧：補助人工心臓治療関連学会協議会 インペラ部会 (j-pvad.jp) https://j-pvad.jp/facility/」をご</p>

	覧ください。
試料/情報の 院外提供	提供先機関・提供先責任者：シー・ブイ・クエスト株式会社 代表取締役 皆川 和宏 提供方法：インターネットを介した電子的データシステム（EDC）
結果公表	学会での発表または論文化が行われることで公表します。
研究参加拒否・同意 撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2025年12月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 心臓血管センター / センター長 / 伊藤 良明
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 心臓血管センター / 伊藤 良明